

# 1年生 数学の学習の進め方

[数学の目標について]

- (1) 数の概念についての理解を深める。
- (2) 図形についての観察、操作や実験などの活動に対して、論理的に考える。
- (3) 関数についての理解を深める。
- (4) 資料を整理し、その資料の傾向を読み取る。

[自主的な学習について]

問題集は、各自、家庭での復習として、授業中の余裕のある時間など、自分のペースで進めてください。定期テスト前後に回収します。丸付けをして、間違えたものについては、チェックを入れ、自力で解けるまでしっかりと修正リトライしておきましょう。提出物は意欲を評価する上で大切なものですので、必ず提出できるようにしましょう。

[評価について]

4つの観点からA,B,Cの3段階で評価します。

A:十分満足できるもの    B:おおむね満足できるもの    C:努力を要するもの

## ① 数学への関心・意欲・態度

忘れ物、問題集の提出・内容、授業中の挙手発言、意欲的な授業への取り組み、自己評価カード等、総合的に判断します。私語などの授業を妨害することは大きく減点されます。

## ② 数学的な見方や考え方

論理的に考え、その考えを深めたりすることが出来る。

## ③ 数学的な技能

計算や図形を数学的に表現し、処理することができる。

## ④ 数量や図形についての知識・理解

基礎的な概念や原理・法則などについて理解している。

②～④については、中間テスト・期末テスト・授業での取り組みを中心に、評価項目にあった内容部分の得点をもとに、A, B, Cで評価しています。

[評定について]

各評価の観点ごとA,B,Cの評価をもとに総合的に判断し、5段階の評定で評価します。

(例) AAAA→5    ABAB→4    BBBB→3    BCCC→2    CCCC→1

※総合的に判断しますのでA2つ、B2つでも異なる評定(例として3か4)になることもあります。

[学年評定について]

1 学期から 3 学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価（A・B・C）と評定（5 段階）を行います。

[1 年間の学習内容]

1 章 正負の数

・正負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法 ・正負の数の利用

2 章 文字と式

・文字を使った式 ・文字式の計算 ・文字式の利用

3 章 方程式

・方程式とその解き方 ・1 次方程式の利用 ・比例式

4 章 比例と反比例

・関数 ・比例 ・反比例 ・比例と反比例の利用

5 章 平面図形

・図形の移動 ・基本の作図

6 章 空間図形

・いろいろな立体 ・立体の見方と調べ方 ・立体の表面積と体積

7 章 資料の散らばりと代表値

・資料の散らばりと代表値 ・近似値と有効数字